

平成 22 年度 加古川西高校学校評価のまとめ

学校評価委員会

1 本年度の学校評価の方法

「職員の自己評価」と「外部（生徒・保護者）のアンケート評価」を行なった。

(1) 職員の自己評価

- ・実践目標（46 項目）に対する達成度を、全職員が 4 段階で評価する。

1	2	3	4
そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない

(2) 外部（生徒・保護者）アンケート

- ・生徒・保護者を対象に 15 項目のアンケート質問を行い、各問いについて 4 段階で評価する。

1	2	3	4
そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない

2 評価結果

(1) 職員の自己評価結果 <資料 1 参照>

- ① 実施日 平成 22 年 12 月 10 日
- ② 回答数 53 名（職員数 57 名、93 %）
- ③ 結果分析

- ・学校行事や規範意識に対する職員の意識は高い。勉強だけでなく人間としての幅広い教育の重要性を感じている結果と思われる。
- ・不登校気味の生徒もいるため、教師の意識の中に教育相談における関心度は高いが、なかなか成果が上がっていないことも事実である。
- ・耐震工事中ということもあり、教室内の環境や施設設備に対する評価は低かった。

(2) 外部アンケート（生徒・保護者）の結果 <資料 2 参照>

- ① 実施日 平成 23 年 1 月 27 日～2 月 9 日
- ② 回答数

	1 年 358 名	2 年 317 名	3 年 317 名	合計
生徒 回答数（率）	345（96 %）	294（93 %）	298（94 %）	937（94 %）
保護者 回答数（率）	343（96 %）	272（86 %）	208（66 %）	823（83 %）

③ 結果分析

- ・本校は「文武両道」に力を入れていることもあってか、比較的「学校行事」や「部活動」に関する評価が高かった。今後も伝統として引き継いでいきたい。
- ・職員の自己評価同様、項目 12・項目 14 に見られるように、学校の施設設備や教室内の環境については、耐震工事の影響からか、評価は低かった。
なお、今年度末で耐震工事も終わり、次年度においてはエアコンも設置される予定であるので、評価も上がると期待する。
- ・3 年生は 2 月より自由登校になる。3 年の保護者に対して、もう少し早めにアンケートを実施していれば回収が徹底し、回答率も上がったと思われる。次年度に生かしたい。

<資料1>

平成22年度 学校自己評価集計結果

<評価 1:そう思う 2:どちらかといえばそう思う 3:あまりそう思わない 4:そうは思わない>

22年度(53名)%

学年	分掌	観 点	設問番号	評 価 項 目	1	2	3	4	平均
1	総務部	総務係	1	学校行事の統括及び円滑な実施のため、関係部・学年との連絡に努める。	64	32	4	0	1.4
			2	清掃習慣の定着、大掃除を月に一回定例化、校舎内外の美化につとめ、美化意識の涵養を図る。	24	53	21	2	2
			3	非常災害時の対策を講じ、関係諸機関との連携して避難訓練などの実施、防災意識の高揚を図る。	36	51	13	0	1.8
2	教務部	教務係	4	特色ある教育課程の編成	13	51	30	6	2.3
			5	活力ある学習活動を実施するための指導力、指導方法の向上	25	49	24	2	2
			6	授業時数の確保	40	49	6	5	1.8
			7	学業成績を含む個人情報の管理の徹底	38	56	6	0	1.7
3	教務部	図書係	8	委員会活動を通して生徒の自主性の育成	29	60	11	0	1.8
			9	生徒や教員の希望にも応えながら、バランスの良い図書の選定を行い、「新着図書案内」を発行する。	40	55	5	0	1.7
			10	読書感想文、感想画を募り、各種読書コンクールへの参加と指導を行う。	40	45	13	2	1.8
			11	館報「いずみ」、「図書便り」、「図書委員会だより」を発行し、情報を提供を行う。	40	53	7	0	1.7
			12	図書館の積極的な利用を促し、読書活動を推進する。	11	45	42	2	2.3
4	進路部	進路指導係	13	3年間を見通した進路指導計画を作成しそれに基づいて各学年において組織的継続的に推進する。	40	49	11	0	1.7
			14	学年との連携を密にして進路講演会、大学出張講義、大学説明会などの行事を効果的に実施し主体的な進路選択能力の育成を図る。	53	45	2	0	1.5
			15	高校生就業体験事業やHR、総合的な学習の時間を有機的に活用し、自らの生き方・あり方を見つめ考える中で望ましい職業観・勤労観の育成と進路意識の向上を図る。	38	45	15	2	1.8
5	特色係	16	「自己創造講座」の計画・実施	32	51	13	4	1.9	
6	生徒部	生徒指導係	17	風紀検査（服装・頭髪等）項目の徹底指導を行う。	47	40	13	0	1.7
			18	規範意識の育成	51	42	7	0	1.6
			19	挨拶の励行、携帯電話等のマナー指導を通して、自主性や自立性を養う。	55	43	2	0	1.5
		20	諸規定の見直しと明確化	19	58	21	2	2.1	
		21	学年との連絡・協力の強化	25	66	9	0	1.8	
		22	地域・保護者との連携の強化	33	63	4	0	1.7	
		23	学校行事の見直し	57	39	2	2	1.5	
7	保健係	24	心身の健康の保持、増進	44	46	8	2	1.7	
		25	生命の大切さを学ぶ	66	30	4	0	1.4	
		26	教育相談の充実	60	38	2	0	1.4	
8	人権係	27	福祉の精神の育成	26	49	25	0	2	
		28	人権尊重の精神を養う	27	45	28	0	2	

次の項目については、大部分は生徒・保護者を実施しているものと同じです。

	政 府 委 託 評 価 項 目	1	2	3	4	平均
9	29 本校の教育活動は、生徒に充実した高校生活を与えていると思う。	34	55	11	0	1.8
	30 加古川西高校はその教育方針を日々の教育に生かしていると思う。	30	57	13	0	1.8
	31 生徒の理解度に合わせ、質の高い教科指導を行っていると思う。	34	59	7	0	1.7
	32 学校行事は計画的に実施し、規律や自主性の向上に成果を挙げていると思う。	47	49	4	0	1.6
	33 SHRやLHRは有効に活用されていると思う。	34	40	22	4	2
	34 進路指導は、生徒一人ひとりの目標達成に役立つように行われていると思う。	38	55	7	0	1.7
	35 人権学習は、効果的に行われていると思う。	23	47	28	2	2.1
	36 部活動は、学校生活を充実させるためのものになっていると思う。	53	40	7	0	1.5
	37 部活動と学習と両立させている生徒が多いと思う。	26	38	32	4	2.1
	38 生徒会は活発に活動しているほうだと思う。	53	38	9	0	1.6
	39 保護者への連絡や情報公開は適切に行われていると思う。	38	53	9	0	1.7
	40 職員・生徒にとって、施設設備は満足できるものだと思う。	0	30	47	23	2.9
	41 本校は清掃活動や環境美化に力を入れていると思う。	21	45	28	6	2.2
	42 室内の環境は快適だと思う。	6	34	49	11	2.7
	43 生徒は、加古川西高校生であることに誇りを持っていると思う。	36	60	2	2	1.7
	44 本校に勤務することに誇りと充実感がある。	49	45	6	0	1.6
	45 自己創造類型について関心が、[1 大いにある。 2ある。 3あまりない。 4全くない。]	30	40	28	2	2
46 文理探究類型について関心が、[1 大いにある。 2ある。 3あまりない。 4全くない。]	26	43	25	6	2.1	

